

# 学校だより 11月 372号

横浜市立六つ川西小学校 (TEL) 742-6301 (FAX) 743-2394

URL <http://www.edu.city.yokohama.jp/sch/es/mutsukawanishi/>

## 「かがやき ひびきあう」授業をめざして

副校長

分散登校が終わって一か月。学校は子どもたちの笑顔であふれ、授業にも活気が戻ってきました。先日の授業参観ではたくさんの保護者の皆様に、子どもたちががんばっている姿を参観していただくことができました。足元の悪い中ご来校いただき、ありがとうございました。

「子どもたちが活躍できる授業」ができるよう、私たち教職員は日々準備をしていますが、互いに授業を見合って学ぶ「授業研究」も行っています。

本校では今年度、「自ら関わり、共に育つ 六つ西の子 ～児童の対話的な学びを引き出す指導の手立て～」という研究主題を掲げ、「国語科」を中心に全職員で授業研究を進めています。行事予定に書かれている「校内授業研究」が、私たち職員の研修の日です。

授業研究は、

- ①学級の子どもたちの実態に合わせてどのように授業をつくりあげるかという指導案を作成し、
- ②研究授業を実施して互いに見合い、
- ③放課後の研究会でその授業について良かった点や改善点、今後に生かすためにどのような視点で授業づくりをしていくとよいか、などについて話し合う、

という流れで進めます。研究会では、その授業で見られた子どもたちの発言や子ども同士のやり取り、学びの姿から授業を分析し、意見交換をします。授業者として最もうれしいのは、子どもたちの成長の様子をほめてもらえた時です。私自身が担任をしていた時、子どもたちが自分の想定以上に対話を進め、教師を超えていく瞬間を何度も味わいました。教員が力をつけるために行う授業研究ですが、教員が力をつけることは、子どもたちの成長と、充実した学校生活に直結しています。学校で過ごすほとんどの時間を授業が占めています。その授業の中で一人一人が活躍し、友達と関わり合いながら成長する姿を見られることは、教員にとってこの上ない喜びです。

学校の授業では、正しい答えが分かればよいという学習はしていません。その答えに至るまでのプロセスに注視し、友達との考え方の違いに気付くことで、より豊かな見方・考え方を育みます。また、自分とは違う考えを認め合うことで、友達同士、互いに認め合える心情を育むことにもつながります。

「今日は授業でこんなことが分かったよ」 「〇〇さんのこんな考えがおもしろかったよ」

「△△さんの考えを聞いて新しい考えを思いついちゃったよ」

「□□さんの考え方ってすごくてね、私には絶対考え付かないと思う」

子どもたちが家でこんな風に話したくなるような授業をめざして、また、子どもたちが対話し、交流し合い、成長していくことができるような授業をめざして、私たち教職員は腕に磨きをかけ続けていきます。